

2000 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会 要項 3

2000 年 11 月 11 日発行

発行：2000 年度日本学生オリエンテーリング選手権大会実行委員会

発行責任者：松久 覚（実行委員長・1989 年立教大学卒）

編集責任者：江崎 保夫（事務局・1997 年静岡大学卒）

地図表記

日本学生オリエンテーリング選手権大会（以下インカレ）実施規則のとおり、I O F の「国際オリエンテーリング地図規定」に従う。ただし、「国際オリエンテーリング地図規定」に規定されていない、インカレで用いる地図表記については大会コントローラーの同意を得て、その凡例をモデルイベントの地図に掲載する。

テレインの概要

・クラシック

地形は、全体的に尾根・沢がはっきりしており、複雑な地形は少ない。斜面は急峻なところが多く、緩やかな斜面の部分は少ない。植生は、大部分が針葉樹林で占められているため、見通し・走行可能度とも良い。しかし、倒木・下草で走行速度が低下するところもある。テレイン内には、耕作地や民家も存在し、その周辺部には舗装された道路も存在するが、山林の中の小道・小径はあまり発達していない。また、走行の障害となるような岩石地は見られない。

・リレー

地形は、小さな山塊からなり、全体的には尾根・沢がはっきりしているが、細部では侵食により比較的複雑なところもある。植生は、全体的に針葉樹林で占められているが、広葉樹林も存在する。比較的倒木・下草が多く走行可能度は若干下がる。テレイン内に耕作地が存在し、その周辺部には道路・道が存在する。山林内にも、道は多く存在する。また、走行の障害となるような岩石地は見られない。

概略のコース距離と登距離

		コース距離	登距離
クラシック	M E	9600m	530m
	W E	5800m	280m
リレー	M E	6700m	400m
	W E	4500m	270m

コース距離・登距離ともに変更の可能性がある。

リレーは 1 走者あたりの数字である。

コース設定者

クラシック：水嶋孝久（1999 年静岡大学卒）

リレー：羽柴公貴（1998 年早稲田大学卒）

インカレ実施規則の不適用条項と変更内容

インカレ実施規則 1.4に基づき、理事会で承認された事項である。

[1] 実施規則の不適用条項

リレーでは、縮尺1万分の1の地図を用いるため、実施規則16.3における以下の内容を不適用とし、これを削除する。

「クラシックとリレーには同一の縮尺が用いられる。」(要項2にて発表済)

【参考：実施規則 16.3】

縮尺は1万5千分の1で、等高線間隔は5mとする。トレインを適切に表現するための、これと異なる縮尺、あるいは、等高線間隔の使用は、大会コントローラーの同意を必要とする。クラシックと、リレーは同一の縮尺が用いられる。

クラシック・リレー共に、パンチングシステムとしてノルウェーEMIT社の電子パンチングシステム(Emit Electronic Punching and Timing system)を使用するため、実施規則22.1を不適用とし、e-cardの配布をクラシックにおいてはスタートの待機所、リレーにおいては受付にて大会当日朝に行うこととする。これは、モデルイベントおよびクラシックにおいて使用したe-cardを翌日の競技に使用する可能性があるためである。

【参考：実施規則 22.1】

コントロールカードは、クラシック、リレーとも競技前日の代表者ミーティングが始まるまでに参加各校の代表者に配布される。

クラシック・リレー共に、実施規則22.6を不適用とし、e-cardの加工は認めない。

【参考：実施規則 22.6】

コントロールカードは加工してもよい(例：書き込んだり、補強したり、ケースに入れるなど)。但し、コントロールカードの一部を切り落としてはならない。

[2] 実施規則の不適用ではないが、留意すべき事項について

実施規則15.1の男子リレーの優勝時間を、優勝チームのトータル時間が240分と解釈する。そのため、1競技者あたりのコース最速時間は55分程度と想定し、設定される。

【参考：実施規則 15.1】

コースは、以下の優勝時間を想定し、設定される。

	クラシック	リレー(各競技者)
男子	80分	60分
女子	65分	45分

リレーで縮尺1万分の1の地図が用いられるのに伴い、リレーでの地図表記(実施規則16.1)およびコース表記(実施規則17.1)の仕様を以下のように取り扱う。

- ・ 地図記号(線状、点状)の仕様は、縮尺1万5千分の1仕様の1.5倍。
- ・ コース表記および地図記号(面状)の仕様は、縮尺1万5千分の1仕様と同様。

【参考：実施規則 16.1】

地図はIOFの「国際オリエンテーリング地図規定」に適合したものを使用する。特別な表記の使用は、大会コントローラーの同意を必要とする。これらの変更点は、要項3に明記される。

【参考：実施規則 17.1】

競技用地図は、以下のように表記される。

- ・ オリエンテーリングの開始地点は、正三角形(1辺7mm)
- ・ コントロールは、円(直径5~6mm)
- ・ ゴールは、2重同心円(直径5mmと7mm)

- ・誘導区間は、破線。

本インカレにおいて、Emit電子パンチングシステムの使用に伴い、実施規則を以下のように解釈することとする。

- ・「パンチ」という用語は、電子パンチングシステムの「コントロールユニット」を指す。
- ・「コントロールカード」という用語は、電子パンチングシステムの「e-card」を指す。
- ・「記印」とは、電子的なパンチングも含まれる。
- ・実施規則24.3では、「パンチ記印のついたあらゆるものをゴール役員に手渡す。」とあるが、バックアップラベルを紛失しても、e-cardの電子的記録により完走が認められる場合は失格としない。

【参考：実施規則 24.3】

計時線を通過した競技者は、コントロールカードと、パンチ記印のついたあらゆるもの（例：コントロールカードケースなど）をゴール役員に手渡す。リレーでは、地図とコントロール位置説明表も手渡す。

実施規則25.6では、リレーの競技時間を越えたチームは参考記録となるが、ゴール閉鎖時刻以後のタイム計時は行われなため、発表される成績ではゴール閉鎖時刻を越えたチームのチーム記録は表示されない。

【参考：実施規則 25.6】

競技時間は、クラシックでは3時間までとする。この時間を越えた競技者は失格とする。リレーでは男子は6時間、女子は4時間30分までとする。この時間を越えたチームは参考記録とする。

競技に関するその他の留意事項

[1] 推奨トレーニングテレインについて

類似したテレインでのトレーニング機会として、以下のテレインを推奨する。

三河OLC作成「曲り峠」(愛知県 南設楽郡作手村)

- ・上記テレインの一部をモデルイベントに使用する予定である。(要項2にて公表済み)
- ・モデルイベント用地図は例年通り要項4(プログラム)と同時に、2月下旬に配布する。
- ・2001年3月7日までの間、三河OLC作成「曲り峠」の使用が可能である。但しその使用に当たっては、三河OLC(インカレ実行委員会兼)の担当者である下記まで連絡し、その際に指示された事項を遵守の上使用すること。

担当者連絡先：安齋秀樹(anzai@orienteing.com)

名古屋大学大会(2001.1.7開催)に使用するテレイン(愛知県 東加茂郡下山村、南設楽郡作手村、額田郡額田町)

- ・上記テレインは名大大会終了後より使用可能となる予定である。
- ・上記テレインの使用については、名大大会終了後～インカレ当日までインカレ実行委員会にて管理することとし、地図の販売及び申請の受付を行う。使用にあたってはインカレ実行委員会の担当者である下記まで連絡し、その際に指示された事項を遵守の上使用すること。

担当者連絡先：佐藤直季(satnao@d3.dion.ne.jp)

<補足> 名大大会の会場となる愛知県野外教育センターは宿泊施設であるが、大会終了後～2月下旬(予定) 宿泊棟改修工事のため宿泊はできない。

【推奨トレイン使用にあたっての注意事項】

- ・ 立入禁止区域に隣接しているため、トレインの使用にあたっては立入禁止区域を厳守し、移動や宿舎等の選定においても十分注意すること。また、それぞれの担当者が推奨宿、及び使用禁止の宿について指示を行うのでそれに従うこと。
- ・ 「公認愛知大会」の会場となった「鬼久保ふれあい広場」は立入禁止区域内となるので注意すること。

[2] 競技責任者の変更について

要項1にて発表済みの競技責任者を以下のように変更する。

安斉秀樹（1994年東北大学卒） 工藤浩司（1997年京都大学卒）

[3] 競技区域（立入禁止区域）に存在する地図の公開及び配布

2000年5月4日、「公認愛知大会」の会場（鬼久保ふれあい広場）内にて行われたグループ形式のオリエンテーリングに使用された地図「鬼久保ふれあい広場」を本要項と同時に各校に配布する。なお、本インカレにおいてもこの会場を使用する。

その他

- ・ 当実行委員会では、公式ホームページを開設し、情報発信を行っている。要項等のほかさまざまな情報を掲載していく予定である。

<http://www.orienteering.com/~ic2000/>

- ・ 大会期間中（3月8日～3月11日）の、愛知県野外教育センター及び、立入禁止区域内となる「鬼久保ふれあい広場」内のペンションへの宿泊を禁止する。
- ・ 要項4（大会プログラム）の配布について

実施規則 5.1, 5.2に従い、大会3週間前までに要項4（大会プログラム）を各地区学連及び日本学連事務局へ送付する。また、大会参加者に対しては2001年2月18日に開催される早稲田大学OC大会の大会会場で、加盟校・準加盟校を単位として参加人数分の配布を行う予定である。配布への御協力を御願います。なお、早稲田大学OC大会で受取ることができなかった加盟校・準加盟校には後日郵送する。

【参考：実施規則 第5条】

- 5.1 主管者は、インカレに関する必要な情報を、要項としてすべての地区学連及び日本学連事務局へ送付する。
- 5.2 要項の発行時期は以下の通りとする。
（中略）
要項4（3週間前）
気象、スタート時刻、コース距離、登距離、特殊な位置説明、代表者ミーティングに関する情報、集合場所、宿泊と輸送に関する情報、裁定委員の氏名

（要項3 終わり）